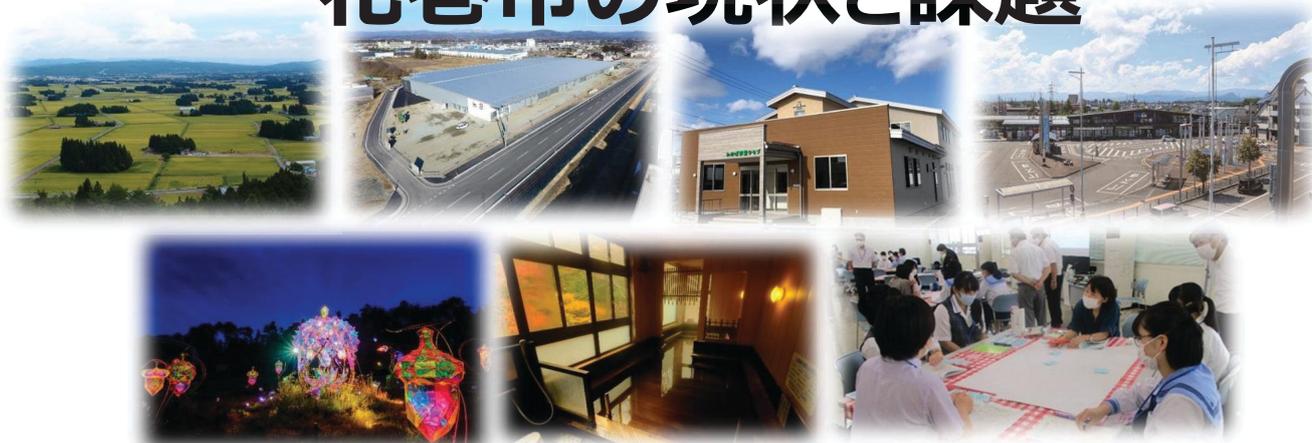


2023 富士大学地域創生論

花巻市の現状と課題



2023年7月13日
花巻市長 上田 東一

—目次—

—頁—

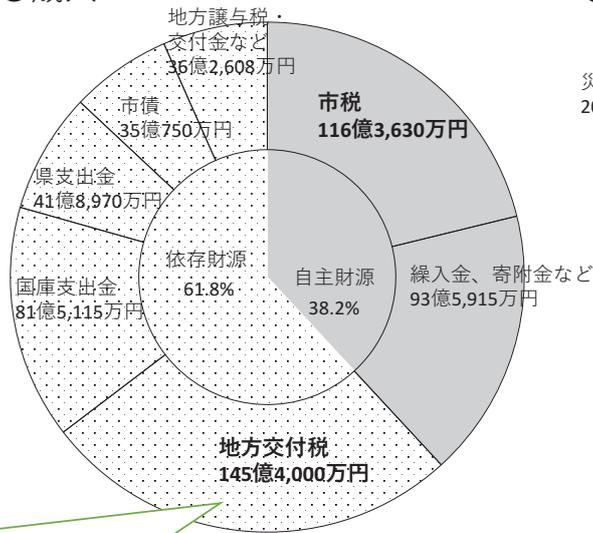
◎ 花巻市の財政の状況	- 2 -
◎ 市の人口動態について	- 3 -
◎ 花巻市立地適正化計画の概要	- 4 -
◎ 令和5年度の主な施策	- 5 -

・新花巻図書館整備について	・結婚新生活支援制度	・保育環境の充実
・JR花巻駅東西自由通路	・地域おこし協力隊	・医療費・保育料など助成
・国道4号拡幅・スマートインターチェンジ整備	・地域おこし研究所の開設	・子育て支援事業
・新たな産業団地の整備	・ワインとぶどうを核とした産業振興	・保育士確保のための支援制度
・公共交通ネットワーク	・スマート農業の推進	・教育支援・奨学金制度
・道の駅「石鳥谷」リニューアルオープン	・新規就農支援制度	
・優良な住環境の整備	・コロナ禍における対応・物価高への対応	
・住宅取得支援制度	・周産期医療体制の確保	
・就業支援制度	・妊産婦交通費支援	

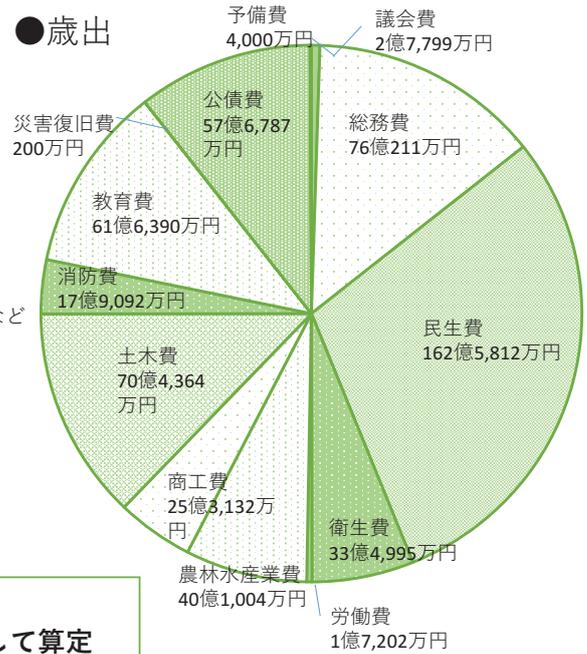
花巻市の財政の状況

◆令和5年度花巻市一般会計予算 **550億988万円** (6月29日現在)

●歳入



●歳出



地方交付税のうち普通交付税は？

「**基準財政需要額**」 から 「**基準財政収入額**」 を差し引きして算定
(行政運営に必要な標準的経費) (その団体の標準的な税等収入)

令和5年度における花巻市の
基準財政需要額は253億円、基準財政収入額は120億円
 ※当初予算編成時の試算額

花巻市の財政の状況

■基金の状況

基金の名称	基金残高 (令和2年度決算)	基金残高 (令和3年度決算)
財政調整基金	7,106,206千円	7,720,960千円
減債基金	1,164,450千円	1,162,846千円
まちづくり基金	5,801,957千円	6,555,330千円
その他	1,531,450千円	1,535,378千円
合計	15,604,063千円	16,974,514千円

財政調整基金は、コロナ対策等、国県の支援を待たずに必要な施策を実施するため確保

■市債の状況

市債の名称	市債残高 (令和2年度決算)	市債残高 (令和3年度決算)
合併特例債	18,393,311千円	18,603,008千円
辺地対策事業債	219,908千円	321,503千円
過疎対策事業債	5,978,385千円	6,235,585千円
臨時財政対策債	18,310,777千円	17,778,258千円
その他の市債	14,198,518千円	13,415,650千円
合計	57,100,899千円	56,354,004千円

充当率95% 交付税算入率70%
 充当率100% 交付税算入率80%
 充当率100% 交付税算入率70%
 充当率100% 交付税算入率100%

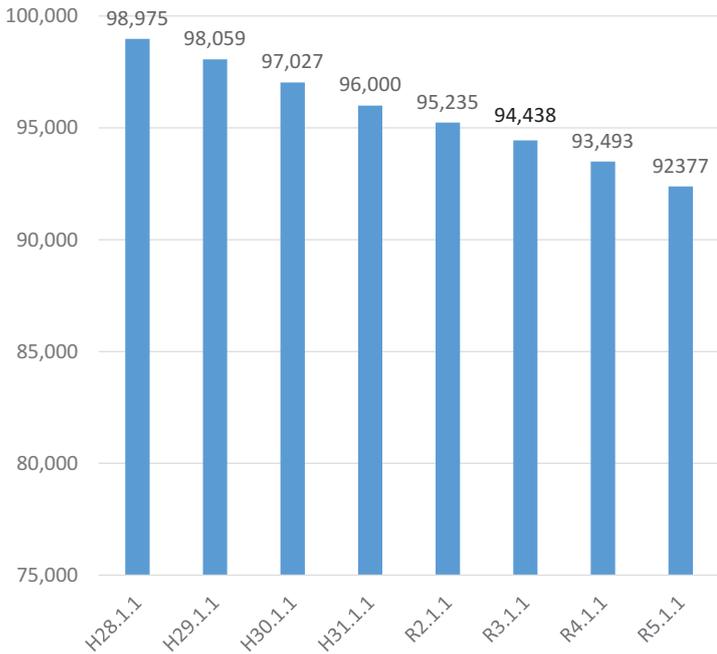
財政上、非常に有利な
地方債を活用

■一般会計の市債残高と実質的将来負担額の推移

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
市債残高(各年度末)	57,044,458千円	57,100,899千円	56,354,004千円
うち実質的将来負担額	14,760,455千円	14,583,871千円	14,054,218千円

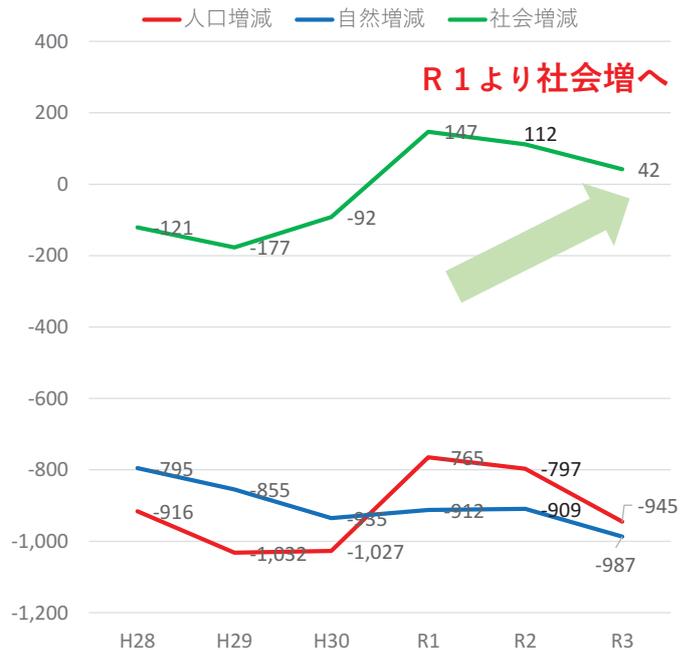
花巻市の人口動態 ①

花巻市の人口



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
ただし、R5.1.1は花巻市住民基本台帳上の人口

花巻市の人口動態



出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

R 4は市住民基本台帳による速報値では、社会増減が+65人となり、4年連続で社会増

花巻市の人口動態 ②

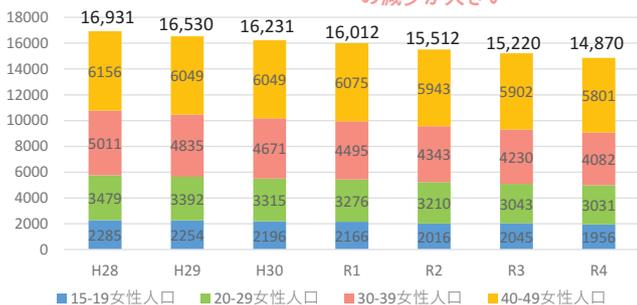
花巻市の合計特殊出生率と出生数



出典：岩手県保健福祉年報（岩手県環境保健研究センター算出）
ただし、R4は花巻市住民基本台帳上の出生数

出生率、出生数ともに減少傾向

花巻市の15-49女性人口 R4は女性人口（特に10代、30代）の減少が大きい

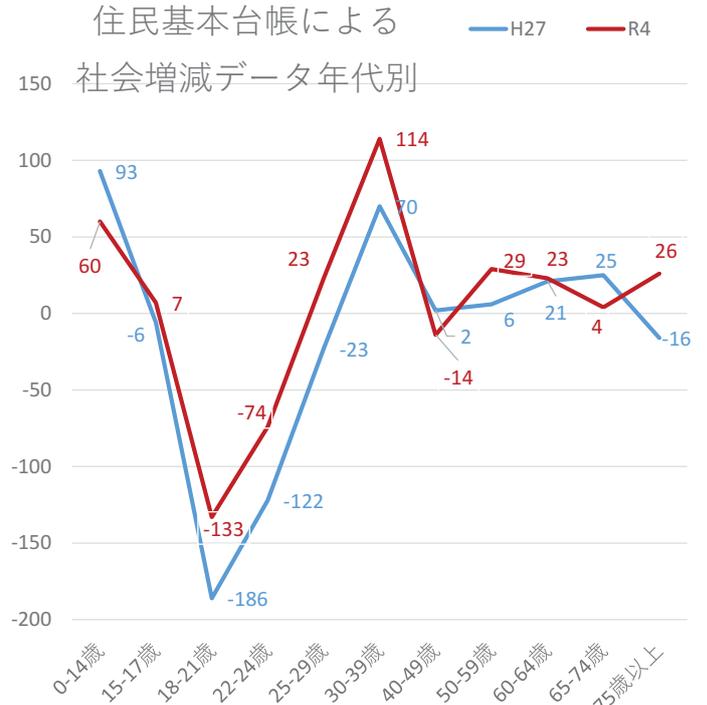


出典：岩手の長期時系列データ

75歳以上の高齢者数は今後も増加する一方で
出生数は減少傾向にある

住民基本台帳による

社会増減データ年代別



出展：花巻市住民基本台帳による調べ

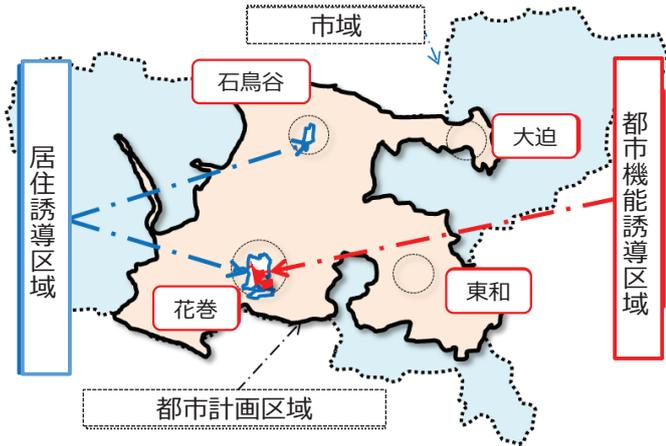
R4は25歳から39歳、さらに17歳以下が転入超過となり、子育て世帯の転入が増えている

立地適正化計画

医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し
 または、高齢者はじめ住民が自家用車に過度に頼ることなく公共交通により医療・福祉施設や商業施設等にアクセスできる
 など

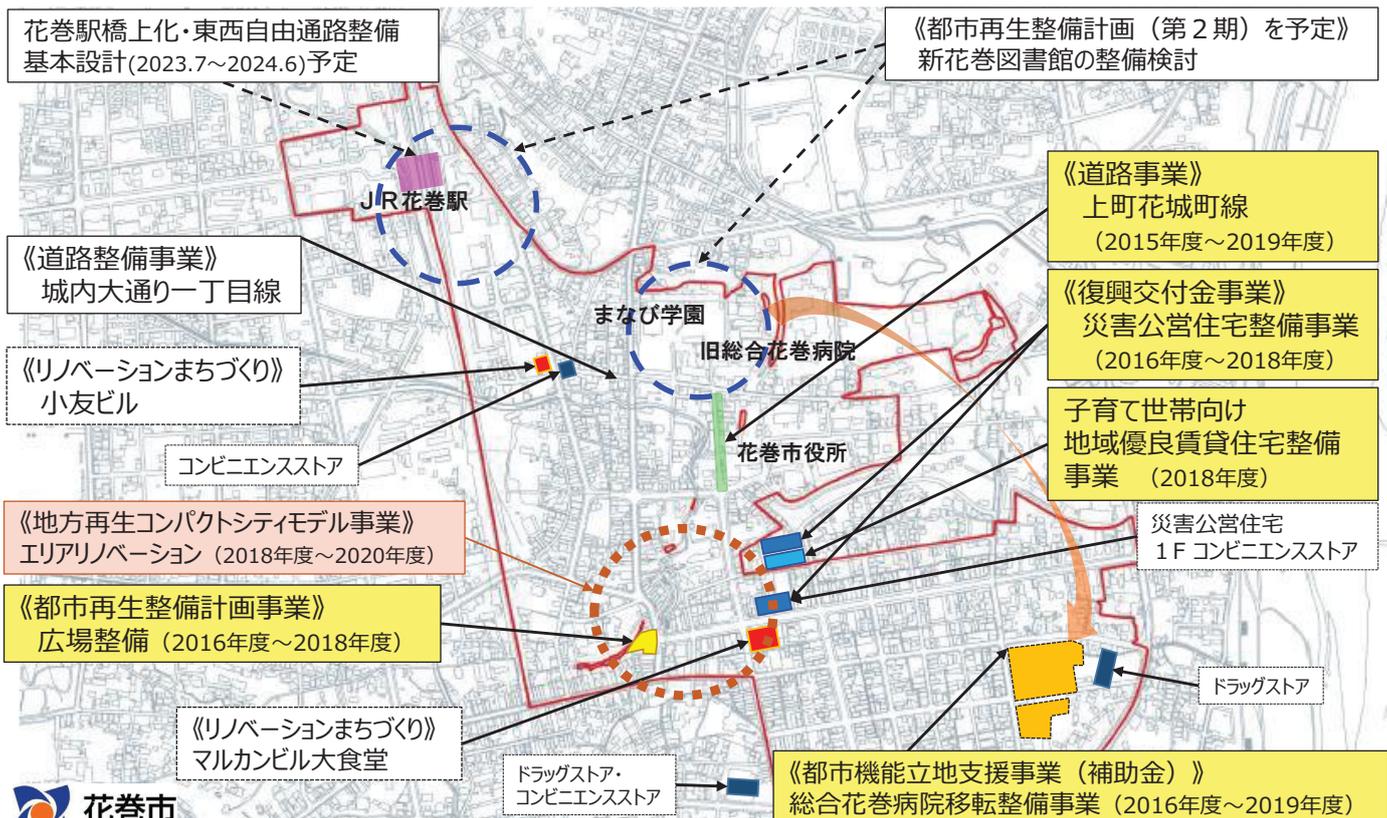
日常生活サービスや行政サービスが身近に存在する「コンパクト+ネットワーク」の形成を国が推進
 計画策定した市町村等を国土交通省が総合的に支援

花巻市立地適正化計画 (2016年6月、全国で3番目に策定)



- 4地区中心部 生活サービス機能を維持・ネットワーク
 ⇒ 4地区のまちなかの維持
- 居住誘導区域 → 花巻、石鳥谷の2地区に設定
 分散した立地を抑制 / 一定の人口密度を保つ
- 都市機能誘導区域 → 花巻地区に設定
 市全域から利用しやすい地区に総合的・公共公益
 機能を維持・整備
 (整備には国の財政的支援)
- その他
 公共交通、リノベーションまちづくりなど方向性を記載

花巻市立地適正化計画の概要② 都市機能誘導施設、関連整備事業



1.新花巻図書館整備基本構想（2017年8月）

新しい図書館を使いやすく、親しみやすいものとするため、2017年の基本構想では、2012年に市民懇話会から提言を受けた「花巻図書館への提言」に基づき、「基本方針」「整備」「建設場所」「事業費」について方針を定めた

①基本方針

- A) 郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館
- B) すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館
- C) 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ情報の情報拠点としての図書館

②整備方針

- A) 施設に関すること
ユニバーサルデザイン、十分なスペースを確保、先人や郷土資料のスペースを設置、防災・防犯対策・環境への配慮等
- B) 蔵書資料に関すること
広い分野の収集、先人や郷土資料を充実、視聴覚資料や電子資料の活用
- C) 運営に関すること
利用しやすい開館時間、利用者の視点、ボランティアとの協働、職員体制の充実
- D) サービスに関すること
レファレンスサービスの充実、中央図書館としての機能、情報発信を強化、新たなシステムへの対応

③建設場所

- A) 図書館は、市民をはじめとする利用者にとって利用しやすい場所にあるべき
 - 交通アクセスが良く分かりやすい場所
 - 市全域から行きやすい場所
 - 十分な駐車場が確保できる場所
- B) すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館
 - 「都市機能誘導区域」内に整備
 - 近接施設との連携や他施設との複合化など民間との連携も含めて検討

④事業費

- A) 可能な限りコストの削減に努め、花巻市まちづくり総合計画や財政計画を踏まえた整備を進めることとする。
- B) 建設後の運営費や図書購入費、職員体制に係る経費も十分に考慮して今後計画を進める

2.ワークショップ・意見交換等（2020～2021年）

「新花巻図書館整備基本計画」市民の意見を取り入れるために、ワークショップ、意見交換等を開催

①意見交換

- A) 20年度実施（20年5月21日～21年3月29日）
高校生、区長会役員・国際交流協会理事会・花巻商工会議所
市民団体等 12回実施 延べ192人参加
- B) 21年度実施（21年6月16日～21年2月22日）
中高生・子育てサークル・その他市民団体等
12回開催 延べ175人参加

【主な意見】

- 学習スペースがほしい
- 子どもが座った目線に本があるとうれしい
- 車のない人のアクセス手段も大事。ふくろう号のルートになれば良い
- 建設場所を駅から離すならバスを出して
- 基本的に移動は車なので、駅の近くじゃなくてもいい。こどもセンターに寄れるので、まなび学園周辺がよい
- 駅近、利便性がよくなってほしい

②ワークショップ

- A) 高校生・20代編（20年7月25日、8月8日）
2回開催 延べ64人参加
- B) 一般編
（20年8月23日、9月13日、9月27日、10月11日、10月25日）
5回開催 延べ137人参加

【主な意見】

- 観光・産業・歴史等、市の情報収集
- 世代ニーズに合う図書
- Wi-fi設置やカフェスペース、緑を感じるなど
- タブレット等最新技術の活用
- 建設場所について、まなび学園周辺と花巻駅周辺のメリットデメリットを検討
- 参加者アンケートで回答された必要な施設では、カフェ・イベントホールやコンビニ等が挙げられた。



3.新花巻図書館整備基本計画試案検討会議（2021～2022）

21年4月に市で整理した新花巻図書館整備基本計画試案について、市図書館協議会委員2名、市社会教育委員1名、図書館利用者や関係団体から8名、市の職員等9人の、合計20名で構成する検討会議を設置し、専門的見地から意見をいただき検討する。

①会議の内容

- 検討会議では、試案に記載された図書館の具体的なサービスや機能などについて検討
- 会議の終期は設けず、試案の議論検討を進める

②検討会議の経過

- 21年4月26日から22年9月20日まで12回開催
- 新花巻図書館整備基本計画に記載するサービスや機能などについて、第8回試案検討会議まで一通りの意見の集約が進んだ。
- 第8回試案検討会議から第10回試案検討会議まで、建設候補地の検討を行った。
- 第11回試案検討会議から第12回試案検討会議まで、市民説明会等の説明資料の検討を行った。



新花巻図書館整備について

4.市民説明会、市民団体及び市内学校等を対象とした市民説明会の開催状況

試案検討会議における新しい図書館のサービスや機能等の検討状況を説明すると共に、試案検討会議における意見をふまえて、スポーツ用品店敷地買収についてさらに検討するために、スポーツ用品店敷地買収の条件（価格、面積など）についてJR東日本と交渉したいことについて、説明を行った。

①市民説明会

- A) 実施期間：令和4年10月11日～10月27日
- B) 15地域、オンライン2回、計17回
- C) 参加者実数225人（うち発言者81人）
- D) 発言内容内訳
 - スポーツ用品店敷地を希望 18人
 - 旧総合花巻病院跡地を希望 32人（うち整備費が知りたいという趣旨の意見 2人）
 - 整備費が分からないと比較検討できないという趣旨の意見9人

②市民団体等説明会

- A) 実施期間：令和4年10月20日～12月20日
- B) 11団体
- C) 参加者実数120人（うち発言者70人）
- D) 発言内容内訳
 - スポーツ用品店敷地を希望 32人
 - 旧総合花巻病院跡地を希望 12人
 - その他（サービスや図書館機能、周辺環境など）26人

③市内学校等グループワーク

- A) 実施期間：令和4年11月18日～12月7日
- B) 市内高校6校130人、花巻高等看護専門学校43人
- C) 参加者実数173人
- D) 発言内容内訳
 - スポーツ用品店敷地を希望 122人
 - 旧総合花巻病院跡地を希望 38人
 - 建設場所はわからない 11人
 - その他の場所を希望 2人



5.候補地別状況－J R花巻駅前スポーツ用品店敷地－

市民の意向を聴く説明会を開催した結果

- 総合花巻病院跡地を推す強い意見がある一方で、各種団体や高校生を中心に駅周辺を推す声が強かった。
- どちらの候補地がいいか市民の意見を更に集約化する必要があると考えている。

J R東日本盛岡支社に対して

- スポーツ用品店敷地に図書館を整備する場合の建設費や駐車場など関連施設の整備事業費などを旧総合花巻病院跡地に整備する場合の条件と比較。
- 前提として、スポーツ用品店敷地とその付帯する土地全ての譲渡価格等購入費用などの条件提示を依頼。

J R東日本盛岡支社からの回答

- 土地、約3,664平方メートルすべてを対象として、用地譲渡について協議を進める旨、社内整理が整ったとの連絡あり。

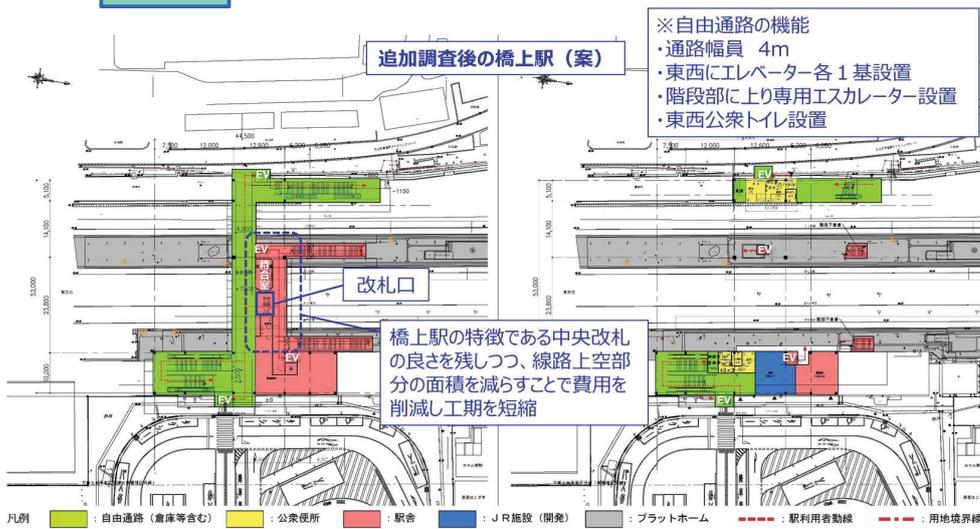
6.今後の方向性について

まずは、J R東日本盛岡支社と土地譲渡に関する条件を協議

整備事業費、建物配置のイメージなど、市民の皆様に提示できる資料を作成

新花巻図書館整備基本計画試案検討会議委員をはじめとする市民の皆様のご意見を集約実施

○ 橋上駅 の整備案概要



・2020年までの物価上昇分約2.4億円を加え**概算整備費は約35.9億円**

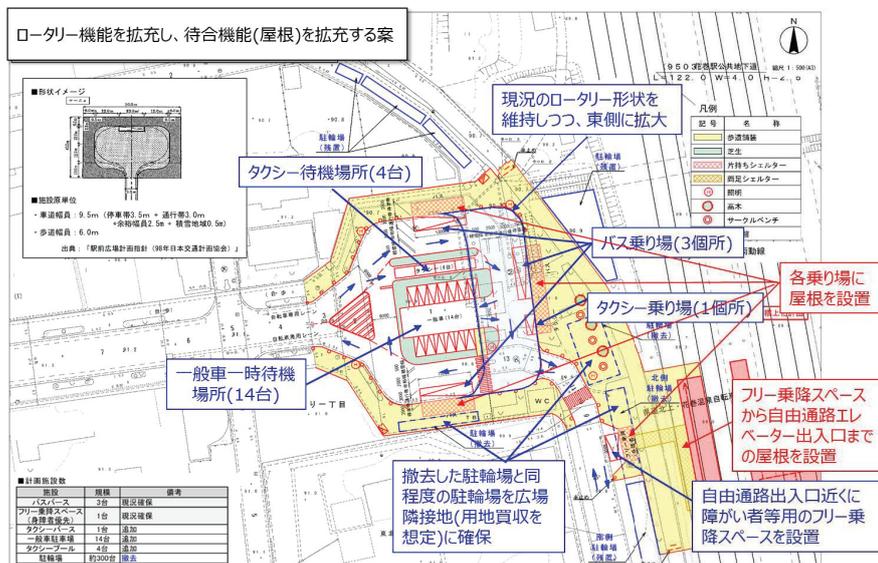


○ 橋上駅 の整備概略スケジュール

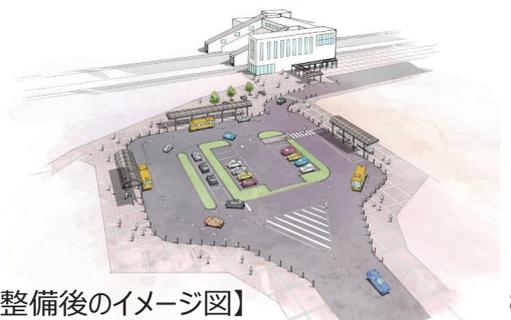
スケジュール	1年目(R5)				2年目(R6)				3年目(R7)				4年目(R8)				5年目(R9)				6年目(R10)			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV																
	基本設計				実施設計				支障移転工事				仮駅工事				本体工事				自由通路& 駅供用開始			
																					仮駅撤去			

○西口駅前広場の整備 (案)

交通量調査や交通事業者等へのヒヤリング結果等を踏まえ、JR花巻駅西口広場再整備に関する土地利用や交通機能等について課題を抽出・整理し、整備案を作成



- ・ロータリーを拡張し、ロータリー内に一般車の一時待機場所(14台)を設置
- ・タクシー待機場所(4台)、タクシー乗り場(1台)を設置
- ・バス乗り場3か所設置
- ・自由通路出入口付近に障がい者等用のフリー乗降場所を設置
- ・各乗降場所に屋根を設置



【西口駅前広場整備後のイメージ図】

○全体事業費

事業	項目	概算事業費
駅橋上化・東西自由通路 (2020年までの物価変動含む)	整備費	約 3,590,000 千円
	用地費(東西降下部分)	約 22,000 千円
西口駅前広場整備	整備費	約 400,576 千円
	用地費(駐輪場)	約 32,300 千円
西口駐車場整備 (15台程度,500㎡想定)	整備費	約 56,000 千円
	用地費(駐車場)	約 20,000 千円
合計		約 4,120,876 千円

財源

国庫補助額	約1,966,938 千円	市負担分に合併特例債(充当率95%)を活用した場合
市負担額	約2,153,938 千円	
	交付税措置額	約1,432,369 千円
	市の実質負担	約721,569 千円

- ※国の補助制度「都市構造再編集中支援事業(補助率1/2)」を活用(ただし駐車場整備の補助率1/8)
- ※西口駐車場整備には民間活力の活用も検討

花巻駅橋上駅・東西自由通路のデザインコンセプトの検討

○駅舎・東西自由通路のデザインコンセプトの検討について

- ・花巻らしいデザインコンセプトを、市民の意見を伺いながら作るため、「デザインコンセプト検討ワークショップ」を開催
- ・専門的な知見に基づきワークショップで出されたデザインコンセプトに対する意見聴取などを行う「有識者会議」を設置

【ワークショップの概要】

○ワークショップでの検討事項

駅舎・自由通路の外観(イメージや色、材質、質感等)や内装・化粧、景観との調和など

○開催回数及び期間

第1回から第3回(令和5年1月29日、2月19日、3月19日)・・・デザインコンセプトの検討
第4回(令和5年12月頃予定)・・・JRから提示されたデザイン案の意見聴取

○参加者構成

27名(関係団体から推薦された方、公募により応募のあった方、市内高校生)

【有識者会議概要】

○委員構成

学識経験者、国、県、交通事業者、建築士会、芸術協会、商工会議所、障がい者団体

○会議開催予定

令和5年3月28日・・・ワークショップのデザインコンセプトの意見聴取
令和6年1月頃予定・・・JRから提示されたデザイン案の意見聴取

「国道4号北上花巻道路」の早期完成について

国道4号は**地域の中核医療機関**、岩手県立中部病院へアクセスする**「命を守る道路」**

■ 国道4号花巻～北上間の課題

- ・花巻地区からの**緊急搬送の約5割が県立中部病院**
- ・花巻～北上間3.1km区間（花巻0.9km、北上2.2km）が2車線でボトルネック
- ・大学や公設地方卸売市場、生産活動が活発な民間企業などが立地
- ・花南地区において「新産業団地」の整備を計画
- ・キオクシア(旧東芝メモリ)の新工場建設(1棟目:R1.10完成、2棟目:R4.4着工)による国道4号への依存度が一層の向上 → **さらなる交通渋滞が予想**

■ 国道4号の拡幅整備により期待される効果

緊急搬送時間の短縮、安定した物流の確保、東北縦貫自動車道の代替、地域経済への波及、観光客の増加

■ 「国道4号北上花巻道路」事業の状況

- R2年度：新規事業化
- R3年度：道路設計、用地調査、用地買収
- R4年度：道路設計、用地調査、用地買収、改良工
- R5年度：道路設計、用地買収、支障移転補償、改良工



▲国道4号の交通混雑状況

花巻PAスマートインターチェンジ整備への支援について

県立中部病院へのアクセス向上（緊急搬送時間の短縮）と産業及び観光振興への効果

■ これまでの状況

- 2019年9月27日 (仮称) 花巻PAスマートインターチェンジ新規事業化決定
- 2021年度 埋文調査、一部工事実施（用水路、畦畔）
- 2022年度 本体工事着手

■ 事業費等 2023年(令和5年)度中の供用開始を目指す

事業費：21.6億円
市負担額：3.3億円
(国庫補助や合併特例債活用により市実質的負担は0.8億円ほど)



新たな産業団地の整備について

①産業用地の確保

- ・2020年度に二枚橋地区へ市独自の産業用地（約2.7ha）を整備・分譲したほか、民間事業者が北側約4haを独自に拡張・整備（市は民間事業者が行う産業用地の整備に要する経費のうち、インフラの整備に要する経費を補助）

開発主体	大和ハウス工業(株)
開発面積	3.7ha

開発主体	花巻市
開発面積	4.4ha
分譲面積	2.75ha
相手方	大和ハウス工業(株)



【主な産業団地】



②公設地方卸売市場北側市有地の売却

- ・当該用地への工場建設の要望を受け、企業用地として売却。売却先では、キオクシア岩手(株)の2棟目の建設工事に伴い、さらなる事業拡大を計画

所有者	花巻市
所在	山の神670番2
用途	準工業地域
売却先	クリーンテクノ(株) ※キオクシア岩手(株)の関連企業 (塩ビダクトの製造、取付)



新たな産業団地の整備について

【主な産業団地】

③新産業団地開発の調査

(中長期的な対策)

- ・実相寺・山の神地区の産業団地（全33.6ha）のうち、中央部（約12.3ha、B工区）の先行整備を決定
- ・R4は、B工区内の整備の詳細を定める実施設計や用地買収などを実施（R7下期以降の分譲開始予定）

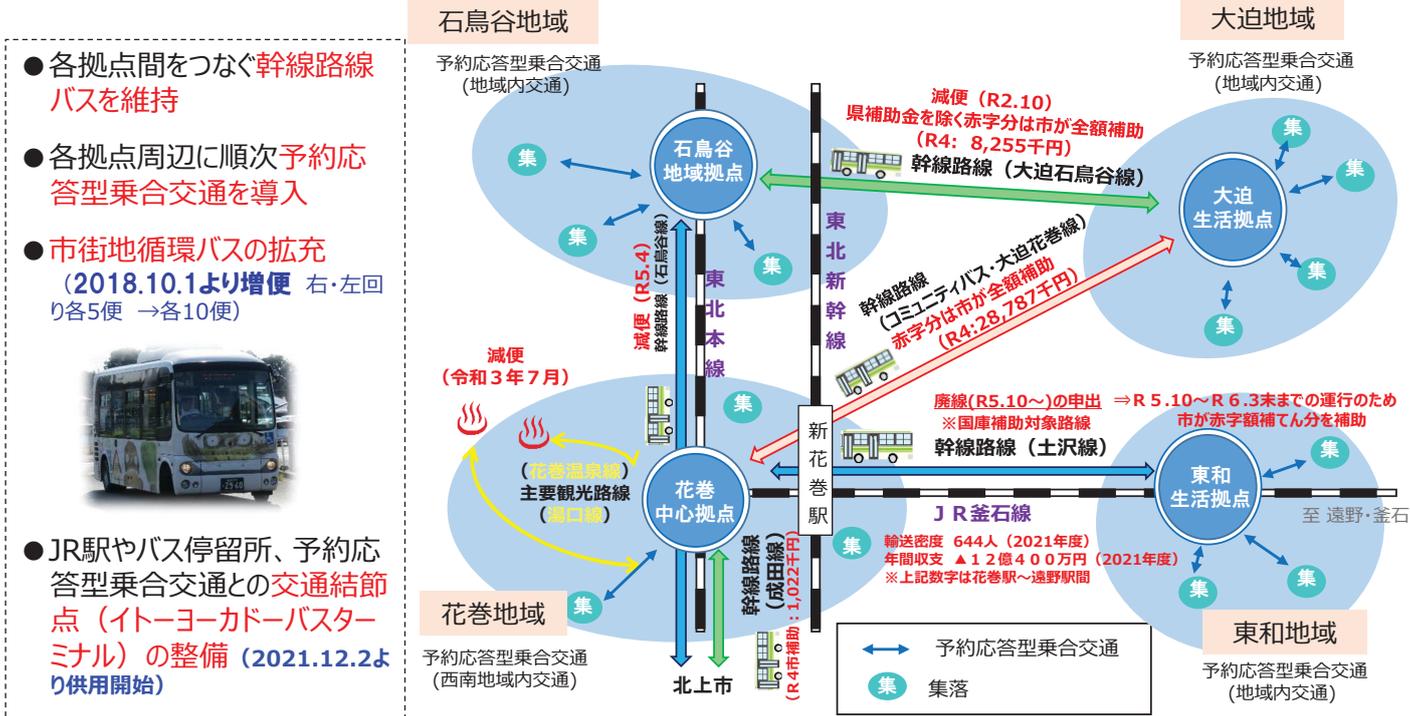


※ 先行開発 (B工区) のロードマップ

区分	R5	R6	R7
実施設計			
用地・補償			
B工区	西側	埋文調査	
		造成工事	
		土地引渡	
東側		埋文調査	
		造成工事	
		土地引渡	



公共交通は、4つの拠点を結ぶ幹線路線バスを維持しながら、各拠点内の路線バスのうち、維持困難な路線について、予約応答型乗合交通に移行



バス路線について

■地域の公共交通維持を支える路線バス運行事業者への支援体制の強化 県路線バス事業者の経営は厳しい状況に

《花巻市の場合》

**市内乗合バス事業者1社に対し、
3か年 (R2・R3・R4) で計5回、総額19,160千円の支援金を交付
※上記支援金とは別に赤字路線への補助も実施**

しかし、乗合バス事業者では**乗務員不足などを理由に、盛岡市や県南地域、沿岸地域において、多くの路線の運行系統廃止を含む大幅な減便**を実施。

当市内を運行する土沢線 (国庫補助路線) を令和5年10月から廃線※とする通知あり

※乗合バス事業者より、市がR5.10~R6.3の赤字額を補てんすることを条件として、R6.3までは運行するとの回答あり。
市として上記期間の赤字額補てん分の運行補助金を予算措置。

地域公共交通を守るために…

市では、市民の日常生活に必要不可欠な地域公共交通の維持確保のため、赤字補てんの補助にとどまらず、路線バス運行事業者の人員確保を含めた経営支援が必要であるとして、国・県・市町村が一体となった**経営支援策の創設を国・県に対し要望**

経営状況が厳しいローカル鉄道の在り方について、国土交通省の有識者会議の提言では、**1キロ当たりの1日平均利用者数（平均通過人員）が「1,000人未満」と**いった利用者が少ない区間に関し、国が主体的に関与し、県を含む沿線自治体や鉄道事業者などが鉄道の存続策や運行見直しなどの協議に入る「**（仮称）特定線区再構築協議会**」の創設が**提案**され、要件を満たす線区については、鉄道事業者又は沿線自治体の要請を受けて新たに協議会を設置するとされ、本市に発着駅を有するJR釜石線も設置要件に該当している。

《JR釜石線の状況》※JR東日本による公表

花巻駅～遠野駅間の**平均通過人員 644人**（2021年度）
 年間収支 **▲12億4百万円**（2021年度）

J R釜石線は県内陸部と沿岸部をつなぐ重要な路線

- ・新幹線駅である新花巻駅への接続路線。
- ・**県外からの観光・ビジネス客の市内や沿岸部への移動手段**
- ・災害時において、内陸部と沿岸部の**支援物資輸送手段**となるなど**代替性・補完性の確保**
- ・沿岸部を運行する三陸鉄道に接続する路線であり、**三陸鉄道にも影響**

→JR釜石線などのローカル鉄道の存続・活性化のためには、**便数の増加等を含む更なる鉄道の利便性向上の取り組みが必要**

道の駅「石鳥谷」2023年7月リニューアルオープン

■道の駅「石鳥谷」施設概要

- ・日本三大杜氏の一つ「南部杜氏の里」
- ・県内道の駅指定第1号
交通量に恵まれた国道4号に面す
- ・南部杜氏伝承館、酒匠館(物産館・食事処)、産直等の多様な施設構成
- ・2020年「道の駅の防災利用及び相互支援に関する協定」を国と締結

石鳥谷 ～南部杜氏の里～



▲完成イメージ図



2019年「施設再編基本構想・基本計画」策定

- ・休憩機能の充実
- ・「南部杜氏の里（酒造り）」の魅力発信
- ・地域憩い・交流の場
- ・道の駅視認性確保 等

南部杜氏伝承館
 展示変更（試飲も）
 芝生広場
 トイレ新設
 （キッズコーナーも）
 物販充実
 （野菜・日本酒・お土産）

**2023年7月15日
 リニューアルオープン！**

■ 新たな補助制度の創設

【花巻市民間宅地開発支援事業補助金（R3新設）】

- ・面積3,000㎡未満のミニ開発で、優良な宅地分譲を行う事業者に対し、造成費用の一部補助。
補助対象区域：居住誘導区域（花巻地区、石鳥谷地区）、生活サービス拠点（大迫地区、東和地区）
花巻地区は居住誘導区域周辺の用途地域（一部を除く）も対象
- 補助金の額：**1 開発あたり上限200万円（都市機能誘導区域300万円）**
※分譲戸数や道路面積、造成費用から算定

【花巻市空家等解体活用補助金（R3新設）】

- ・空き家を解体し、建築物の新築を行う者に解体費の一部補助
補助金の額：**補助対象経費（解体費）の2分の1**

区域	限度額
市内全域	40万円（旧耐震基準に建築されたものは10万円加算 上限額50万円）
市内全域のうち、居住誘導区域 又は生活サービス拠点区域	100万円

住宅取得等支援制度① ー花巻市空き家バンクー



- 空き家登録 3 1 7 件、利用登録 6 6 9 件、成約 1 7 4 件（2023. 3. 3 1 現在）
（うちR4年度 空き家登録21件、利用登録107件、成約19件）

制度	概要	支援（助成）内容
空き家バンク活用奨励金	● 市外からの転入者と成約した場合 空き家所有者に奨励金支給 ※市外からの転入者との成約に限る	奨励金10万円
定住促進住宅取得等補助金	● 県外からの転入者(子育て世帯または空き家バンク利用者)及び市外の就農希望者が市内で住宅を取得・賃借する際の費用を助成	空き家のリフォーム費用、引越費用、家具家電購入費用等 補助対象経費の2分の1を助成 ※市内事業者等がリフォームを行った場合は、限度額内で全額を補助 ・住宅購入の場合 上限200万円 ・住宅賃借の場合 上限100万円 ※住宅本体取得費は補助対象外

住宅取得等支援制度② ー花巻市空き家バンクー

制度	概要	支援内容
若者世代等空き家取得奨励金等	<p>●結婚や子育て等のライフステージを控えた若者世代及び県外からの移住者に対する住宅支援のため、「空き家バンク」に登録された住宅の取得又は改修に係る費用を支援</p> <p>対象者・・・39歳以下の若者世代と県外からの移住者</p> <p>【実績】（令和3年度開始）</p> <p>令和3年度 5件</p> <p>令和4年度 1件</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【若者世代】</p> <p>空き家取得 奨励金 30万円</p> <p>↓</p> <p>上限 40万円</p> <p>↓</p> <p>子育て世帯の場合 奨励金 20万円</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【移住者】</p> <p>定住促進住宅取得等補助金</p> <p>↓</p> <p>子育て世帯の場合 奨励金 20万円</p> </div> </div> <p>※県の「若者・移住者空き家住まい支援事業費補助金」より2分の1補助</p> <p>空き家の取得：15万円上限、空き家の改修：20万円上限</p> <p>子育て世帯加算：10万円上限</p>

住宅取得等支援制度③ ー子育て世帯住宅取得支援ー



制度	概要	支援・助成内容
子育て世帯住宅取得奨励金	<p>①市が定める区域〔*1〕に住宅を取得した子育て世帯に奨励金を交付</p> <p>*1 花巻・石鳥谷地域は花巻市立地適正化計画に定める「居住誘導区域」or「都市機能誘導区域」</p> <p>大迫・東和地域は地域と市が定める「生活サービス拠点」（大迫地域は大迫地域、外川目地域の一部）（東和地域は土沢地域）</p> <p>②親と同居または近居〔*2〕する住宅を取得した子育て世帯に奨励金を交付</p> <p>*2 親世帯と同じコミュニティ地区内を想定</p>	<p>奨励金30万円</p> <p>（都市機能誘導区域内へ新築購入する場合、20万円加算）</p>

花巻市と独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結により、上記制度対象者が長期固定金利住宅ローン「フラット35」を利用する場合、借入金利を最長10年間、年0.25%引き下げ

制度	概要	支援（助成）内容
U・I・Jターン者就業奨励金	● 県外から市内企業に就職したU・I・Jターン者に、奨励金交付	奨励金 ・U・I・Jターン者 25万円 ※花巻市移住支援金を併給する場合は、10万円 ※1年以内に6か月以上継続して勤務し、かつ期間の定めない雇用契約であること。なお、新卒者は対象外。
移住支援事業 (花巻市移住支援金)	● 東京圏からの移住者に国・県・市が負担し移住支援金を交付	支援金 ・世帯での移住100万円 ※18歳未満の子供を伴って2023年4月以降に移住した場合、子供1人につき100万円加算 子供の人数加算額に上限なし ・単身での移住 60万円 ※2019年10月より開始 ※U・I・Jターン者就業奨励金と重複受領可能。
インターンシップの実施・支援	● 市内事業所でのインターンシップを行う大学生等に交通費及び宿泊費を助成	インターンシップ参加に要した経費助成 (居住地～市内事業所の交通費・宿泊費・パック旅行費) 上限2万円(宿泊費は1泊あたり5千円を上限)

- 市も国・県と連携して、結婚新生活に伴う住宅取得費用または住宅賃貸費用、引越し費用を、市内で結婚新生活を開始する世帯を対象に支援。
※市で実施する他の住宅支援施策との併用も可能。

- ①補助対象：結婚に伴う住宅取得費用または住宅賃貸費用、住宅のリフォーム費用、引越費用
- ②補助世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満
(世帯年収680万円未満に相当) の新婚世帯
- ③補助上限：30万円 ※夫婦ともに29歳以下▶60万

●地域課題の解決⇒「地域おこし協力隊」制度を導入
都市地域の意欲ある人材の積極的な受け入れ⇒新しい目線の取り組み

※2023年5月31日現在、8人の隊員が地域住民と連携・交流。
個々のテーマや自らが見つけた地域課題を解決するため活躍中。



●地域資源を活用したむらづく
りによるシティプロモーション



●若者と街をつなぐ
シティプロモーション



●観光資源を活用した魅力ある
観光コンテンツの創出



●成島和紙を中心とした花巻伝統
工芸における新商品の企画制作



●伝統工芸の普及活動や情報発信
によるシティプロモーション



●学びの場を通じた地域のつなが
りや国内外の文化交流の推進



●大迫地域でぶどう栽培技術
の習得・就農



●東和地域田瀬湖周辺観光施設
を中心とした地域活性化

花巻市地域おこし研究所の開設

■ 開設の目的

- 花巻市の未来に資する研究、開発及び実践。
- 研究と通常業務の両立ができる専門的な技術と能力を持った人材（高度人材）の育成。

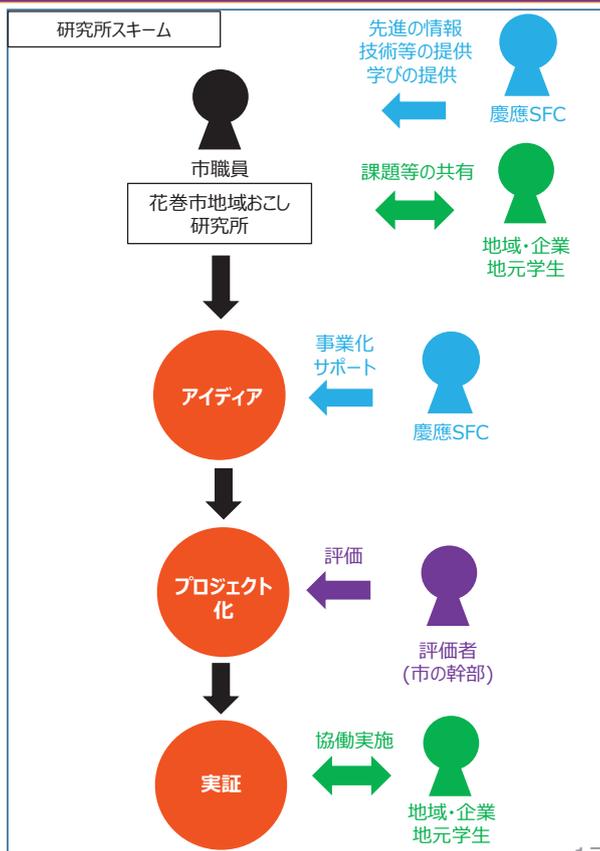


■ 研究所の役割

- 地域課題の解決方法や事業計画の検討⇒市職員が先頭となり実践⇒学び続ける機会と場を創出
- 市職員を高度人材へ育成

慶應義塾大学 S F C 研究所との連携

- 花巻市に新機軸を提供するテーマを設定
SFCからの遠隔・対面での指導・助言受け、市に資する研究開発従事。
- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
2名が2020年度で大学院修士課程修了。
1名が2021年7月に合格。同年9月から大学院修士課程に入学。



ぶどう生産者への支援

新規就農者支援制度

ぶどう栽培技術指導や初期費用補助

空き家バンク制度

移住者・新規就農者等への空き家の紹介・諸費用補助

労働力支援（大迫）

ボランティア組織「ぶどうつくり隊」の運営
ぶどうトライアルステイ「かんたはうす」の開所

環境整備（規制緩和）

クラフトワイン・シードル特区

ぶどう栽培技術指導や初期費用補助最低製造数量基準の引き下げ等

（年間6kl⇒果実酒2kl、リキュール1kl、農家レストラン等で提供の場合は適用除外）

農地の流動化

農地法に基づき、農地の権利取得にあたっては、農地の下限面積が定められていたが、2023年4月1日にこの面積要件を廃止

→就農しやすい環境に

醸造志向者への支援

ワイナリー整備等事業補助金

新規ワイナリー設立や設立後の施設整備、醸造設備の導入、果実酒の販路開拓に要する費用補助

醸造技術習得支援事業補助金

ワイナリーが醸造志向者を研修生として受け入れる場合の経費に対する補助

花巻産ワインのPR

日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催

岩手のワイン発祥地大迫から、「ワイン産地岩手」を全国に発信。
北海道～関東・甲信越の37ワイナリー147種のワインを楽しむ。
・2023年5月27日・28日開催

●ぶどう生産の担い手確保

→2019年に特区制度を活用した初のワイナリー完成

（社会福祉法人悠和会）

2021年に2つ目・3つ目のワイナリー完成
（大迫佐藤葡萄園）

（もんのすけ農園）

●花巻産ぶどう、ワインのブランド化、産地化

- スマート農業技術の導入前に情報収集や実用性・収益性を検討する必要があることから、花巻市農業振興対策本部が主体となり、実証実験を実施
- 外部講師等を招いて最新技術や今後のスマート農業技術の見通し等を紹介し、普及啓発を図るため研修会を開催

実証実験の内容



RTK-GPS自動操舵による大豆施肥・播種の高精度化



【水位センサー】



【自動給水栓】

水管理システムを活用したスマートフォンによる水田の水管理

新規就農支援制度

制度	概要	支援（助成）内容
新規就農支援	●市外から移住してきた新規就農者が対象に機械購入等の初期費用、農地の賃借料助成	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用 最大80万円（3年以内） ・賃借料補助 1万円／10a（最大50a）（最大5年間）
	●新規就農者の研修を受け入れる農家対象に受け入れ費用を支給	研修受け入れ先農家に5万円／月（最大2年間）
	●農業研修を受ける市外から転入の新規就農者対象に家賃を助成	家賃の2分の1以内 上限2万円（最大2年間）

事業名	内容
キャッシュレス決済ポイント付与キャンペーン	<p>キャンペーン対象店舗においてpaypay残高で支払いを行うと、支払額の最大20%のポイントが付与（対象店舗は地場の事業者に限定、コロナ禍における事業者の事業継続支援と物価高への対応という両面から支援）</p> <p>【キャンペーン実績】 第1弾を2020年8月に開始（東北で最も早くキャンペーンを実施）、これまで8回実施</p> 
事業者の地代・家賃補助事業	<p>小売業、飲食業、宿泊業、道路旅客運送業、サービス業、医療業、介護事業、卸売業等を営む中小企業者を対象、コロナ禍前等と比べ30%以上売上が落ちた事業者に対し、店舗賃借料や駐車場賃料といった固定経費を補助（月額賃料（税抜）の1/2以内（月額上限10万円））</p> <p>【第10弾までの助成実績】 ▶ 交付額総額 延べ 約2億4,000万円を交付</p>
温泉宿泊施設等利用促進事業	<p>県民、県民のグループまたは県内事業所に勤務する方を対象に市内温泉宿泊施設等の利用料助成 2022年10月からは、国の宿泊助成により宿泊予約状況が堅調となったため、日帰り入浴のみの助成</p> <p>【温泉宿泊施設等利用促進事業の助成実績】 ▶ 宿泊利用：延べ49万3,493人 ▶ 日帰り入浴利用：延べ 6万8,353人 ▶ 助成額総額：約15億円</p>

事業名	内容
価格高騰緊急支援給付金給付事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 物価高騰に直面し、特に家計への影響が大きい低所得者世帯の負担軽減を図るため、<u>住民税非課税世帯に対し1世帯あたり3万円を給付</u> ● 物価高により家計への影響が大きい <u>住民税均等割のみ課税されている世帯</u> に対して1世帯当たり3万円を給付
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 物価高に直面し、特に家計への影響が大きい <u>低所得の世帯の負担軽減を図るため、ひとり親世帯や低所得の子育て世帯に対して特別給付金（児童一人あたり5万円）を支給</u> ● 物価高により家計への影響が大きい <u>住民税均等割のみ課税されている世帯</u> に対して支援金（児童一人あたり5万円）を支給

物価高における市民の皆様・市内事業所への支援



事業名	内容
公共交通事業者緊急対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の大幅減少や、燃料費高騰の影響を受ける公共交通事業者（乗合バス・タクシー）に対して、安定した事業継続に向け支援金を交付。
花巻市貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金	燃料費高騰の影響を緩和するため、市内に配車している貸切バス1台当たり4万円を支援
中小企業持続支援事業	燃料費高騰の影響を受けている貨物自動車運送事業者に対して、車両1台あたり2万3千円を支援
飼料購入緊急支援事業	畜産農家の飼料（配合飼料および乾牧草）の購入費を支援（輸入粗飼料:1トンあたり15,000円、国産粗飼料:1トンあたり2,500円、配合飼料:1トンあたり1,000円）

物価高における市民の皆様・市内事業所への支援



事業名	内容
花巻市宿泊施設等燃料高騰緊急対策支援金	燃料費高騰の影響を緩和するため、市内温泉宿泊施設などに対し、支援金を給付（上限：法人20万円、個人事業者5万円）
社会福祉施設等物価高騰対策事業	電気料等の物価高騰の影響を受けている、社会福祉施設等に対し電気料金の高騰分を支援 （上限額＝入所200千円、通所100千円、訪問20千円） ※ 2023度は岩手県の支援対象外となっている社会福祉施設等（設置者が花巻市である介護サービス事業所、高齢者施設、医療施設）への支援（介護サービス事業所、高齢者施設には定員1人あたり6千円。医療施設には基礎支援金200千円と加算支援金1床あたり10千円）を予定。
保育施設等物価高騰対策事業	物価高騰の影響を受けている保育施設等に対して、支援金を交付 ①保育所等給食費支援金として、私立認可保育施設や私立幼稚園、認可外保育施設に対して給食費（単価上限あり）を支援 ②保育所等光熱費支援金として、私立認可保育施設や私立幼稚園、認可外保育施設、学童クラブに対して、電気代の上昇分の1/2の額を支援

周産期医療体制の確保(中部病院産科の維持)



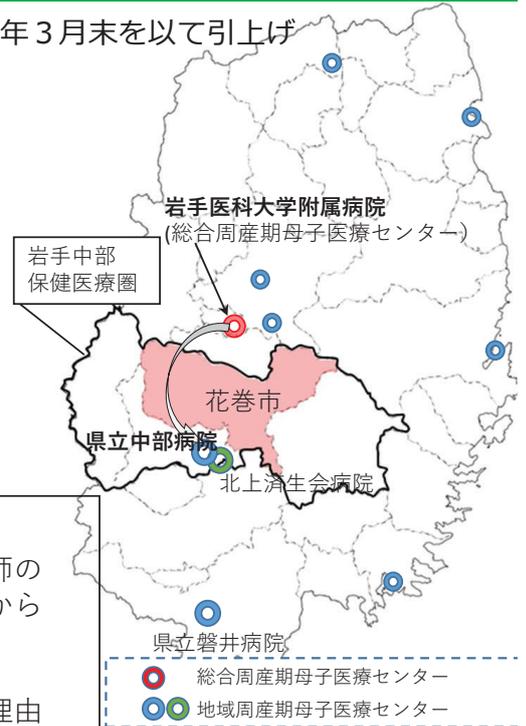
- ・東北大が県立中部病院へ派遣していた産科医師全員について令和2年3月末を以て引上げ(産科医師5人中3人が東北大派遣の産科医師)

県立中部病院産科の存続の危機

花巻市は、速やかに岩手医科大学、東北大学、岩手県、岩手県医師会などの関係機関を訪問するなどして、何度も要望。

岩手医科大学は、県立中部病院へ産科医師を派遣(令和5年4月1日現在 産科医師5名中4名が岩手医大派遣の医師)

花巻・北上・遠野・奥州圏域の周産期医療を支える病院の維持へ



課題

- ・岩手医大医局も産科医師数は不十分。2024年度からは「医師の働き方改革」による医師の時間外労働時間の規制も始まることから県立病院の産科の集約化が懸念される。
- ・産科・小児科医師のほか助産師・看護師も県内全域で不足。
- ・花巻市内でお産件数最多の産科クリニックが、助産師不足等の理由により令和2年3月でお産の取扱いを終了し、市内の産科クリニックは1つだけとなっている。
- ・中部圏域の基幹病院であり、地域周産期母子医療センターである県立中部病院に新生児特定集中治療室(NICU)は整備されていない。

岩手医科大学附属病院利用者連絡バスの運行



■ 岩手医科大学附属病院利用者連絡バスの運行

- 岩手医科大学附属病院の矢巾移転にあわせ、令和元年9月から花巻駅・石鳥谷駅と岩手医科大学附属病院間を往復する連絡バスの運行を開始。
- 平日は1日2便、第1・第4土曜日は1日1便の運行で、入院・通院患者以外にもお見舞いの方など幅広く利用可能。
- 利用料金は花巻駅から乗車で大人800円、小人等は400円。石鳥谷駅から乗車で大人600円、小人等は300円。
- ※小人等…小学生、または身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者。未就学児は無料(要保護者同伴)

妊産婦交通費支援

○市内に住所を有し、県内の産科医療機関に通院または入院している妊産婦の方を対象に、妊産婦検診や通院、入院のための産科医療機関と自宅等との間を移動した際の交通費等を支援(内容)

- ・妊産婦健診等や通院入院のため産科医療機関と自宅等との間を移動した際の交通費(電車、バス等)
- ・待機宿泊(入院待機または分娩待機)の際の宿泊費・交通費
- ・産科医療機関と同じ病院内にある他科を受診するときの交通費(ハイリスク妊産婦であることを理由とした受診)
- ・補助上限
ハイリスク妊産婦 5万円
ハイリスク妊産婦以外の妊産婦 2万円【R5年度から対象経費拡充】

■ 目的

市民が安心して出産することができる環境の維持を図ることを目的とする。

■ 産科診療に必要な産科医師の確保

市内の産科医療機関へ産科医師として就職する際の支援を行う。

市内の産科医療機関が医師紹介事業者を通じて産科医師を雇用した場合に支払う医師紹介手数料について支援を行う。

(支援の内容)

- ・就職支援金給付 産科医師に就職支援金を支給
- ・保育料支援 産科医師に、子どもを保育施設に預ける際の保育料を支援
- ・家賃支援 産科医師に最大3年間、家賃を支援
- ・奨学金返還支援 産科医師に最大3年間、奨学金返還を支援
- ・交通費支援 産科医師に最大3年間、帰省のための交通費を支援
- ・医師紹介手数料支援 産科医療機関に、医師紹介手数料を支援

■ 産科診療に必要な助産師・看護師の確保

市内の産科医療機関へ助産師・看護師として就職する際の支援を行う。

(支援の内容)

- ・就職支援金給付 助産師・看護師に就職支援金を支給
- ・就職支援金貸付 助産師に就職支援金を貸付
- ・保育料支援 助産師・看護師に、子どもを保育施設に預ける際の保育料を支援
- ・家賃支援 助産師・看護師に最大3年間、家賃を支援
- ・奨学金返還支援 助産師・看護師に最大3年間、奨学金返還を支援

保育環境の充実（保育サービスの拡充/学童クラブの整備）

● 私立保育所等3園の施設整備を支援。2020年4月に開設（定員107人分）

- ① 認可保育所「みどりの保育園」（不動）（定員50人）
- ② 認可保育所「わこのいえ保育園」（城内）（定員45人）
- ③ 小規模保育事業所「つくし保育園」（松園町）（定員12人）

● 宮野目学童クラブの増築。2021年4月に定員を20人増員（定員60人⇒80人）

● 花巻学童クラブと、同じ若葉小学校区内にあるひまわり学童クラブを統合整備（2021年12月完成・使用開始）⇒2022年4月に「わかば学童クラブ」として新たにスタートし、定員を増員（定員158人⇒180人）



● 南城学童クラブの増築。2023年4月に定員を12人増員（定員78人⇒90人）

● 学童クラブ「COCO.R SAKURADAI（ココアール サクラダイ）」が2023年4月に臨時開所（定員40人） ※桜台小学校区に整備を進めている施設は、2023年秋ごろに開所予定

医療費・保育料など各種助成制度①

● 医療費助成制度

概要	支援（助成）内容
● 就学前児童	医療費全額助成 ※自己負担、保護者所得制限なし。 ※現物給付のため、医療機関での支払いなし。
● 就学以降18歳まで *18歳に達する日以降、最初の3月31日まで ◎小学生 拡充 …2019年8月診療分から現物給付化 ◎中学生（2018年10月診療分～新設） 拡充 …2020年8月診療分から現物給付化 ◎高校生等（2018年10月診療分～新設） 拡充 …2020年8月診療分から市内医療機関で現物給付化 2023年8月診療分から県内医療機関で現物給付化	自己負担額を超過した額を助成 (1 医療機関ひと月につき自己負担 外来750円、入院2,500円) ※所得制限あり。 ↓ <<拡充>> 2023年8月診療分から所得制限撤廃
● 妊産婦 (妊娠5ヶ月に達する月の初日～出産の翌月末日まで)	自己負担を控除した額を助成 (1 医療機関ひと月につき自己負担 外来750円、入院2,500円) ※所得制限あり。 2024年度からの所得制限撤廃に向け調整中

医療費・保育料など各種助成制度②

事業名	内容	備考
認可・認可外保育施設に通う子どもで 第2子以降3歳児未満の保育料無償化 《新規》	● 認可保育施設を利用する0～2歳児のうち、生計を同一にしている子〔*〕の最年長者から数えて 2番目以降の子どもの保育料を全額助成 * 監護している子	第2子以降3歳児未満の子どもの令和5年4月分の保育料から 全額無料
0～2歳児課税世帯の保育料負担軽減	● 国の幼児教育・保育の無償化の対象となっていない 0～2歳児の課税世帯の保育料を軽減	子の数に関わらず、第1子の子どもの保育料を、国が定める基準額から40%程度、市が独自に引き下げ
特定施設2歳児の 就園支援費助成 《拡充》	● 私立幼稚園が、当該幼稚園に在籍する保育の必要性がない2歳児〔*〕の保育料及び入園料の減免を行う場合、減免にかかる費用を助成 * 満3歳を迎える前月まで	▶ 第1子 入園料と月額保育料の1/4に相当する額（上限5,000円）を助成 ▶ 第2子以降 入園料と月額保育料の全額
第3子以降の 副食費助成 《新規》	● 生計を同一にしている子〔*〕の最年長者を第1子としてカウントし、 第3子以降の副食費などを助成 * 監護している子（R4年度まで） 高校生等以下の最年長者を第1子とし、第3子以降の保育料を助成	令和5年度分として支払った対象園児の 副食費などを全額助成 （R4年度まで） 住民税（所得割）課税額に応じ保育料の1/2～全額助成

医療費・保育料など各種助成制度③

事業名	内容	備考
認可外等保育施設に通う子どもの 健康診断費用助成	●市内の認可外保育施設や事業所内保育所に入所する児童の 健康診断等の実施にかかる費用を助成	児童の 健康診断、歯科検診 にかかる費用を助成。児童1人当たり1回 2,000円 （年3回まで）
未就園児で第2子以降3歳児未満の 在宅育児を支援 《新規》	●18歳以下の子を第1子として数え、保育施設を利用していない生後2カ月から3歳に達する月の前月までの第2子以降の乳幼児を 在宅で育児している世帯に支援金を支給	乳幼児1人につき 10,000円 を助成

子育て支援事業

事業名	内容	備考
産後ケア、産前・産後サポート事業 ★ R 4 拡充 (開設日を週3回+月2回から週4回へ) ★ R 5 新規 将来の宿泊を伴うサービスの実現にむけ先進地を視察	●妊産婦が抱える妊娠、出産などの悩みについての相談、 産後間もない母子 に対する心身のケア ● 母親同士 の仲間づくりを促し、孤立感を解消、安心して妊娠期を過ごし、育児ができるようサポート ※妊産婦の支援を行うNPO法人「まんまるママいわて」に委託	自己負担額 ・産後ケア 全日型 1,000円 /回 半日型 300円 /回 訪問型 無料 ※生活保護世帯、非課税世帯、無料 ・産前・産後サポート参加型サロン 無料
妊婦一般健康診査 多胎妊娠妊婦健康診査	従来の14回の健康診査に加え ●妊娠40週を超えた妊婦の方で必要と認められた場合 1回分の妊婦健康診査費用の一部を助成 ●多胎妊娠された妊婦の方 5回分の妊婦健康診査費用の一部を助成	

保育士確保のための支援制度①

制度	概要	支援（助成）内容
保育士等 復職支援	●市内の保育所等への再就職を希望する、保育士等の資格を有する人へ復職に向けた支援を実施	職場見学や職場体験などの場を無料で提供
保育士等 再就職支援金 貸し付け	●市内の私立認可保育所等に再就職する保育士に、再就職支援金を貸し付け	貸付金10万円（1人1回まで） 1年間勤務で返還免除
保育士等 保育料補助	●市内の私立認可保育所等で週20時間以上勤務する保育士に、子どもを認可保育所等に預ける場合の保育料を助成	保育料月額 ・第1子 10,000円 ・第2子 5,000円（令和4年度まで）

保育士確保のための支援制度②

制度	概要	支援（助成）内容
保育士等 家賃補助	●家賃を助成	補助上限額から、勤務先から支給される住居手当を差し引いた額に、以下の割合を乗じた額を助成【R4制度拡充】 ○補助対象家賃上限額 月額4万円 ⇒ 月額4.2万円 ○補助率 採用1年目 採用2年目 採用3年目 1/2 1/3⇒1/2 1/4⇒1/2
保育士等 奨学金返済支 援補助金	●奨学金の返済の一部を補助	返済額の1/2を補助（継続して36月を限度とする） 年額12万円を上限（半年の場合は6万円）
新卒保育士 就職支援金 貸し付け 【R3.12月開始】	●市内の私立認可保育所等に就職する新卒保育士に、就職支援金を貸し付け	貸付金20万円（1人1回まで） 1年間勤務で返還免除

教育支援・奨学金制度①

制度	概要	支援（助成）内容
はなまき夢応援奨学金制度 ★拡充…R3年度分から、日本学生支援機構の給付奨学金採択者を対象者に追加併せて、日本学生支援機構の給付奨学金との併用可	●経済的事情により就学に向けた支援が必要な人を対象に、 奨学金返還免除支援実施	返還金の全額を免除 ※市内居住期間内に限る
ふるさと保育士確保事業補助金	●市の奨学金制度を利用し、市内の認可保育所等（市立保育所を除く）で勤務する保育士対象に 奨学金返還を支援	返還金の半額を助成
ふるさと奨学生定着事業補助金 ※花巻市奨学金（返還型）は、保護者が花巻市に住所を有している方、または市内児童養護施設入所の方で、世帯収入が基準額以下の方に対し、無利子で貸与する返還奨学金【貸与額（学資金）】 高校生等：月額15,000円以内 大学生等：月額30,000円以内	●花巻市奨学金※を返還している方（これから返還する方含む）で、 市内大学卒業後、市内居住の場合、奨学金返還を支援	返還金の半額を助成 ※市内居住期間内に限る
介護人材確保事業補助金	●市の奨学金制度を利用し、介護福祉士等の資格を取得。市内介護サービス事業所等に勤務する人対象 奨学金の返還を支援	申請年度に返還すべき額×申請年度における就業月数／12月×2分の1 ※就業を開始した月から、60月分限度

教育支援・奨学金制度②

事業名	内容	備考
高校生おおはさま留学生受け入れ事業	●早池峰国立公園やユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財早池峰神楽等 花巻市大迫地域の資源を活用 全国から県立大迫高等学校の入学生を「 高校生おおはさま留学生 」として受け入れ ⇒花巻地域での生活や地域活動などに意欲を有する人材を育成、地域振興	▶居住 ホテルベルンドルフの客室を学生寮として提供 ※令和6年度留学生受け入れに向け、新たに洋室4部屋を寮室として改修 ▶食事 1日3食を提供（昼食は弁当） ▶通学 徒歩又は自転車での通学 ▶生活サポート 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会会員が生活支援員として、ホテルベルンドルフスタッフとともに留学中の生活全般をサポート



← ホテルベルンドルフ（学生寮）



留学生 →



岩手県立大迫高等学校